認知症ケアパス 状態や症状に応じて利用できる支援やサービスがあります

『認知症ケアパス』は、認知症の状況に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどが利用できるかの概略を示したものです。
 なお、認知症の状況は個人により異なります。必ずこの経過をたどるわけではありません。今後、予想される症状や状態の変化の目安として参考にしてください。

認知症の段階	認知症はない	軽度		中度		重度	
	健康	MCI(軽度認知障害) 年相応のもの忘れ	認知症の疑い	認知症は有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	自立	もの忘れは多少あるが日常生活は自立している。認知症ではない。	気になるもの忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成などを含め、日常生活は自立している。	買い物や事務、金銭管理などにミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい。	着替えや食事、トイレ等がうまくできない。	日常生活のほとんどに介護が必要になる。会話などコミュニケーションが難しくなる。疎通が難しくなる。
相談	土幌町地域包括支援センター ・ 担当ケアマネジャー(介護認定を受けたら)						
介護予防・悪化予防	趣味、家庭内の役割、ボランティア、生きがい事業団 まる元運動教室、いきいき運動教室、ふまねっと運動教室、ガンバルーン愛好会、ふれあいサロン、老人クラブ 健康相談、栄養相談、定期的な健康診断						
医療	かかりつけ医 病院(精神科・神経内科) 認知症疾患医療センター(大江病院)						
地域社会とのつながり	老人クラブ ・ ふれあいサロン ・ 町内会 ・ サークル ・ ふまねっと運動教室 ・ お楽しみ昼食会 ・ ガンバルーン愛好会 通所介護 ・ 通所リハビリテーション ・ 小規模多機能型居宅介護						
仕事	土幌町高齢者生きがい事業団						
安否確認 ・ 見守り	民生委員 ・ 緊急通報装置 ・ 認知症サポーター ・ キャラバン・メイト ・ 徘徊高齢者等SOSネットワーク ・ 配食サービス						
在宅生活を支援する介護・福祉サービス	在宅で受けるサービス	【介護保険】訪問介護(ホームヘルプサービス)、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション					
	福祉用具・住宅改修等	【介護保険】指定福祉用具貸与、特定福祉用具購入支給、住宅改修費支給					
	施設等へ通って受けるサービス	【介護保険】通所介護(デイサービス)、通所リハビリテーション(デイケア)、短期入所生活介護(ショートステイ)、小規模多機能居宅介護					
緊急時支援(精神症状が見られる等)	医療機関入院 ・ 緊急医療情報キット ・ 緊急通報装置 ・ 帯広警察署 【介護保険】ショートステイ						
権利擁護	日常生活自立支援事業 任意後見制度 成年後見制度						
住まい	自宅 ・ 有料老人ホーム ・ サービス付き高齢者住宅						
	養護老人ホーム ・ ケアハウス			【介護保険】グループホーム ・ 介護老人保健施設 介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム			